

第5学年1組 外国語科学習指導案

日時 令和5年6月20日(火) 第6校時

場所 English Room 授業者 平樂 裕美

1 単元名 Unit 3 What do you want to study?

2 単元の目標

- ・ 学びたい教科やなりたい職業などについて、聞き取る技能を身に付けている。
- ・ 学びたい教科やなりたい職業などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 【知識・技能】
- ・ 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科やなりたい職業などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 【思考・判断・表現】
- ・ 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科やなりたい職業などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを話そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

3 指導計画 (総時数 8時間 本時 4/8時)

- (1) Starting Out 2時間
- (2) Your Turn 3時間
- (3) Enjoy Communication 2時間
- (4) Over the Horizon 1時間

4 単元設定の理由

本単元は、思考力、判断力、表現力等の「聞くこと」「話すこと[やり取り]」の中で、自分のこと、学校生活などの身近で簡単な事柄について、コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現の中から適切なものを選び、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことをねらいとしている。外国の学校生活を紹介することで、自分たちの学校生活との共通点や相違点に気付かせ、世界には様々な学校生活があることに目を向けさせることができると考える。また、学びたい教科やなりたい職業を紹介しあうことで、それぞれの教科と職業との関連やそれぞれの教科の大切さについても考えることができる。教科の大切さや職業に必要な力を考えることは、「夢に向かって頑張りたい」「学びたい」という児童の姿につながっていく。そして、お互いの夢を応援しともに頑張っていこうと、児童がお互いの思いを受け止め合ったり、励まし合ったりすることができる単元である。

児童はこれまでに、外国語活動で「数」や「色」、「食べ物」などの好きなものを尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しんできている。外国語科の学習になり、難しいと感じている児童が見られるが、英語で話されていることを何とか理解しようと集中して聞いたり、ALTや友達と会話しようと一生懸命に取り組んだりする姿が見られる。新出表現は、より難しいと感じ自分の話す英語に自信が持てずに声が小さくなってしまいう児童も見られる。

指導にあたっては、児童が即興的な活動に取り組み、思考・判断・表現しながらコミュニケーションを楽しめるような言語活動の具体的な目的・場面・状況を設定し、児童が進んで言語活動に取り組めるように工夫していく。また、自信を持ってコミュニケーションが図れるように、練習の時間を確保するとともに、間違えることを恐れるのではなく伝えようとするのが大事であることを伝えていく。今までは、身近な内容であったが、今回は海外の学校生活を取り上げることで、視野を広げていくとともに、今の自分を見つめる時間としていきたい。

5 本時の目標

自分の学びたい教科について、尋ね合うことができる。

6 指導過程

段階	学習活動・学習内容	時間	○指導上の留意点 ●評価（方法）
導 入	1 Greeting	5	○ あいさつやウォームアップをテンポよく行い、外国語学習の雰囲気を作りつつ、前時までの復習を行う。
	2 Warm-up (1) Let's Sing (2) Let's Chant		
	3 Small Talk A: What subject do you like? B: I like (subject). How about you? A: I like (subject). I want to study (subject). What do you want to study? B: I want to study (subject).	5	○ Small Talk をしながら、本時のめあてを確認していく。
	4 Today's Goal <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">学びたい教科をたずね合おう。</div>	2	○ 次時には、なりたい職業について尋ね合うことを伝え、学びたい教科となりたい職業の関連性を考えてやり取りするようにさせる。
展 開	5 Let's Listen 1	7	○ 事前に内容を確認してから始めるとともに、言語活動で活用する表現であることを伝え、より意識的に聞けるようにする。
	6 Activity (1) Practice ① words (P.D. p.24 subjects) ② Key sentence A: What do you want to study? B: I have ○, △, □, □, ◇ and ☆. I want to study □.	5	○ 発音に自信のないものや発音が分からないものは、適宜デジタル教科書や教師用モニターで発音の確認をしてもよいことを押さえる。 ○ 相手意識を持ってコミュニケーション活動に取り組めるように、話すポイントを確認する。
	(2) Communication	15	○ なりたい職業につながる1教科のみを、1日に2時間まで入れてもいいことを確認する。 ● 学びたい教科について、尋ね合うことができる。(やり取り)
ま と め	7 Reflection	5	○ めあてを再度確認し、コミュニケーション活動で心がけたこと、できるようになったことなど、具体的に書くように指示する。
	8 Greeting	1	○ 次時には「なりたい職業」について学習することを伝える。